

「令和7年度 学校評価」結果報告

(その1)

松前町立岡田中学校

≪ 判定の基準 ≫ A = 肯定率80%以上 B = 肯定率60以上80%未満 C = 肯定率40以上60%未満 D = 肯定率40%未満

評価項目	対象	評価指標	よくあてはまる	大体あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	回答数	【参考】 評価平均	肯定率 (わからない・無回答を除く)	判定 (わからない・無回答を除く)	1学期と比較して (3%以上の増減)	学校による考察
			4	3	2	1						
重点目標（学習指導）について	生徒1	私は、『校訓「強くあれ」のもと、成長し続けるたくましい生徒』をめざして努力している。	71人 31.3%	130人 57.3%	26人 11.5%	0人 0.0%	227人	3.20	89%	A		授業が分かりやすく充実しており、楽しく学んでいると感じている生徒が多く、級友と協力して学習する活動が効果的に行われていることがうかがえる。一方で、一人一人に応じたきめ細かな学習指導や、宿題・予習復習など家庭学習への計画的な取組については、肯定的な回答が七割台にとどまっている。その背景の一つとして、学年の進行に伴い学習内容が難しくなり、理解度や学習習慣に差が生じていることが考えられる。今後は、小テストや振り返り活動を通して理解状況をこまめに把握し、授業内での個別支援や補足説明を充実させるとともに、家庭学習の具体的な進め方や学習計画の立て方を示し、ICTを活用した課題配信や学習記録の活用などにより、生徒が主体的かつ継続的に学習に取り組めるよう改善を図っていく必要がある。あわせて、授業の様子や学習の取組状況、進路に関する情報について、ホームページ等を活用して分かりやすく発信し、学校と家庭が連携して生徒の学習を支えていきたい。
	生徒2	宿題や予習・復習など家庭学習に計画的に取り組んでいる。	64人 28.7%	112人 50.2%	47人 21.1%	0人 0.0%	223人	3.08	79%	B		
	生徒3	授業は分かりやすく、充実して楽しい。	67人 30.0%	129人 57.8%	27人 12.1%	0人 0.0%	223人	3.18	88%	A		
	生徒4	授業はペアやグループ活動など、級友と協力して学習する活動が取り入れられている。	112人 50.0%	103人 46.0%	9人 4.0%	0人 0.0%	224人	3.46	96%	A		
	生徒5	授業では、一人一人に応じたきめ細かな学習指導が行われている。	35人 15.8%	130人 58.8%	56人 25.3%	0人 0.0%	221人	2.90	75%	B	↓	
	生徒6	将来の生き方を考え、進路を選択していくために、体験活動の実施や進路に関する情報提供が適切に行われている。	82人 36.9%	122人 55.0%	18人 8.1%	0人 0.0%	222人	3.29	92%	A		
	保護者1	家庭では子どもが、宿題や予習・復習など、家庭学習をするように努めている。	36人 24.3%	91人 61.5%	21人 14.2%	0人 0.0%	148人	3.10	86%	A		
	保護者2	学校は、工夫して分かりやすい授業づくりに努めている。（参観日やお子さんの話などから）	22人 14.8%	113人 75.8%	14人 9.4%	0人 0.0%	149人	3.05	91%	A		
	保護者3	学校は一人一人に応じた学習指導に努めている。（参観日やお子さんの話などから）	14人 9.5%	99人 66.9%	35人 23.6%	0人 0.0%	148人	2.86	76%	B		
	保護者4	学校は、職業や高校など、進路についての適切な指導や情報提供をしている。	34人 23.0%	94人 63.5%	20人 13.5%	0人 0.0%	148人	3.09	86%	A		
	教職員1	基礎学力、学習習慣の確立に努めた。	4人 22%	14人 78%	0人 0%	0人 0%	18人	3.22	100%	A		
	教職員2	学ぶ意欲を引き出す教材研究や、ICT機器や視聴覚機器の効果的な活用に努めた。	4人 25%	12人 75%	0人 0%	0人 0%	16人	3.25	100%	A	↑	
	教職員3	ペア学習やグループでの話し合い活動など、協働学習の場面を設定した。	11人 65%	6人 35%	0人 0%	0人 0%	17人	3.65	100%	A		
	教職員4	適切な学習状況の評価の工夫をし、個別指導に生かすなど、改善を行った。	2人 12%	15人 88%	人 0%	0人 0%	17人	3.12	100%	A	↑	
	教職員5	自分自身を見つめ、自らの意志と責任で進路指導選択ができる生徒の育成に努めた。	3人 18%	13人 76%	1人 6%	0人 0%	17人	3.12	94%	A		

「令和7年度 学校評価」結果報告

(その2)

松前町立岡田中学校

評価項目	対象	評価指標	よくあてはまる	大体あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	回答数	【参考】 評価平均	肯定率 (わからない・無回答を除く)	判定 (わからない・無回答を除く)	1学期と比較して (3%以上の増減)	学校による考察
			4	3	2	1						
重点目標（心の教育）について	生徒 7	道徳科の授業を通して自分の生き方を見つめ直すことができた。	95人 42.6%	102人 45.7%	26人 11.7%	0人 0.0%	223人	3.31	88%	A	↓	道徳科の授業を通して自分の生き方を見つめ直す項目が下がっているのは、教材の中で感じたことや学んだことを自分事として考えることが苦手な生徒や、上手く気持ちを言語化できない生徒がいるからではないかと考える。その改善に向けて、道徳の授業だけではなく日頃の様々な活動の中で、生徒としっかりとコミュニケーションを取り、対話していくことを重視していきたい。また、清掃活動や校内外のボランティア活動ではB評価となっている。清掃活動中に私語が目立ったり、ボランティア活動の参加人数が少なかったりと課題がある。なぜ、清掃を無言でする必要があるので、ボランティア活動の意義は何かなど、その都度学級で生徒に話し、生徒の道徳的実践力を高めていきたい。
	生徒 8	いろいろな場面で、思いやりや支え合う気持ちをもって学校生活を送ることができた。	121人 53.3%	101人 44.5%	5人 2.2%	0人 0.0%	227人	3.51	98%	A		
	生徒 9	清掃活動や校内外のボランティア活動に積極的に参加できた。	72人 33.0%	96人 44.0%	50人 22.9%	0人 0.0%	218人	3.10	77%	B		
	保護者 5	子どもの学級にはまとまりがあり、一人一人を支え合う雰囲気がつくられている。	37人 24.8%	93人 62.4%	19人 12.8%	0人 0.0%	149人	3.12	87%	A		
	教職員 6	道徳の時間の確保と指導の工夫・充実に努めた。	6人 40.0%	9人 60.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	15人	3.40	100%	A		
	教職員 7	自らの良さを認め、共に高め合う生徒の育成に努めた。	5人 29.4%	12人 70.6%	0人 0.0%	0人 0.0%	17人	3.29	100%	A		
	教職員 8	清掃活動や校内外におけるボランティア活動の推進に力を入れている。	5人 33.3%	10人 66.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	15人	3.33	100%	A		
	重点目標（生徒指導）について	生徒 10	悩みや心配なことがあれば、日記や休み時間・放課後などで相談できる先生がいる。	71人 36.2%	77人 39.3%	48人 24.5%	0人 0.0%	196人	3.12	76%	B	
生徒 11		先生は、生徒の悩みや相談事に親身に対応している。	95人 43.6%	111人 50.9%	12人 5.5%	0人 0.0%	218人	3.38	94%	A		
生徒 12		自分には「よいところ」があると思う。	80人 37%	105人 48%	32人 15%	0人 0.0%	217人	3.22	85%	A	↓	
生徒 15		毎朝朝食をとる、服装や身だしなみを整える、時間を守るなど基本的な生活習慣が身に付いている。	146人 64.0%	70人 30.7%	12人 5.3%	0人 0.0%	228人	3.59	95%	A		
保護者 6		学校は、日記指導や教育相談等を通して、生徒の悩みや問題の把握に努めている。	23人 15.6%	102人 69.4%	22人 15.0%	0人 0.0%	147人	3.01	85%	A	↓	
保護者 7		学校は、いじめ問題の早期発見・解決に積極的に取り組んでいる。	25人 17.0%	103人 70.1%	19人 12.9%	0人 0.0%	147人	3.04	87%	A	↑	
保護者 10		学校は、ルールやマナーなど、社会に適用する指導をしている。(身だしなみなど)	39人 26.0%	105人 70.0%	6人 4.0%	0人 0.0%	150人	3.22	96%	A		
教職員 9		日記指導や教育相談等を通して、生徒の悩みや問題を把握できた。	5人 38%	8人 62%	0人 0%	0人 0%	13人	3.38	100%	A		
教職員 10		いじめ・非行問題・不登校など生徒指導上の問題に対して適切に対応した。	7人 44%	9人 56%	0人 0%	0人 0%	16人	3.44	100%	A		
教職員 11		服装や身だしなみを整える、時間を守ることなど基本的な生活習慣の励行に努めた。	8人 53%	7人 47%	0人 0%	0人 0%	15人	3.53	100%	A		
教職員 12		人権・同和教育の視点に立って望ましい仲間意識を育てている。	5人 31%	11人 69%	0人 0.0%	0人 0.0%	16人	3.31	100%	A		

「令和7年度 学校評価」結果報告

(その3)

松前町立岡田中学校

評価項目	対象	評価指標	よくあてはまる	大体あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	回答数	【参考】 評価平均	肯定率 (わからない・無回答を除く)	判定 (わからない・無回答を除く)	1学期と比較して (3%以上の増減)	学校による考察
			4	3	2	1						
重点目標 (健康安全・生徒活動)	生徒13	交通安全や防災、健康的な生活について考える機会がある。	71人 31.7%	121人 54.0%	32人 14.3%	0人 0.0%	224人	3.17	86%	A	↓	感染症予防については各家庭でも気を付けてもらっており、予防に対する習慣や意識が身に付いている。しかし、生活習慣や安全に対する意識は個人差が大きい。引き続き学校全体で、啓発や注意喚起を行い、自分の命を守るための意識を高めていきたい。 「岡田中学校部活動の基本方針」に準じて、体力を養い、礼儀やマナーを身に付けるとともに、休養日や適切な練習時間を設定し、生徒・教職員とも負担のない部活動を心がけている。また、生徒には勝ち負けだけでなく努力する過程を大切にしながら達成感のある結果を求めて、日々、真面目に取り組んでいる。 生徒は学校行事や生徒会活動に積極的に参加している。委員会活動や係活動では、生徒は責任感を持って取り組むことができている。前期に続き、学級活動MYチャレンジカードを実施しており、自身の取組が他者に評価される機会が増えたことも肯定的な回答につながっていると考えられる。また、運動会や文化祭などの学校行事では、生徒主体で運営や準備、練習に取り組むことができている。
	生徒14	手洗い、うがい、必要に応じたマスクの着用など、感染症対策をしっかり行った。	147人 64.5%	71人 31.1%	10人 4.4%	0人 0.0%	228人	3.60	96%	A		
	生徒16	部活動(クラブ活動)への参加を通して体力の向上や礼儀を身に付けることができた。	123人 60.9%	66人 32.7%	13人 6.4%	0人 0.0%	202人	3.54	94%	A		
	生徒17	部活動の休養日は適切に確保されている。	110人 56.1%	69人 35.2%	17人 8.7%	0人 0.0%	196人	3.47	91%	A		
	生徒18	学校行事や生徒会活動に積極的に参加し、自分の存在感や成就感を得ることができた。	88人 40.0%	97人 44.1%	35人 15.9%	0人 0.0%	220人	3.24	84%	A		
	保護者8	学校は、子どもの安全や健康によく配慮し、指導している。	38人 25.5%	105人 70.5%	6人 4.0%	0人 0.0%	149人	3.21	96%	A		
	保護者9	学校は、様々な感染症の予防・対応に配慮している。	39人 26.0%	102人 68.0%	9人 6.0%	0人 0.0%	150人	3.20	94%	A		
	保護者11	学校は、部活動を通して気力・体力と礼儀を高める指導をしている。	46人 30.7%	85人 56.7%	19人 12.7%	0人 0.0%	150人	3.18	87%	A	↓	
	保護者12	部活動の休養日は適切である。	36人 24.0%	106人 70.7%	8人 5.3%	0人 0.0%	150人	3.19	95%	A		
	保護者13	子どもは、学級活動や生徒会活動、各種学校行事に熱心に取り組んでいる。	53人 35%	89人 59%	8人 5%	0人 0%	150人	3.30	95%	A		
	教職員13	交通安全、防災等の安全に関する指導に努めた。	7人 41.2%	10人 58.8%	0人 0.0%	0人 0.0%	17人	3.41	100%	A		
	教職員14	食育の充実や感染症対策など健康的な生活習慣の形成に努めた。	7人 43.8%	9人 56.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	16人	3.44	100%	A		
	教職員15	部活動を通して気力・体力と礼儀を高める指導に努めた。	4人 30.8%	9人 69.2%	0人 0.0%	0人 0.0%	13人	3.31	100%	A		
	教職員19	部活動の休養日が確保できている。	7人 46.7%	8人 53.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	15人	3.47	100%	A		
	教職員16	学級活動・生徒会活動の活性化に努めた。	5人 29.4%	12人 70.6%	0人 0.0%	0人 0.0%	17人	3.29	100%	A		

「令和7年度 学校評価」結果報告

(その4)

松前町立岡田中学校

評価項目	対象	評価指標	よくあてはまる	大体あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	回答数	【参考】 評価平均	肯定率 (わからない・無回答を除く)	判定 (わからない・無回答を除く)	1学期と比較して (3%以上の増減)	学校による考察
			4	3	2	1						
地域・PTAとの連携	生徒19	学校や地域でさわやかな挨拶ができています。	97人 43.3%	109人 48.7%	18人 8.0%	0人 0.0%	224人	3.35	92%	A		区長さんや民生児童委員さんからは、中学生の挨拶や地域行事への積極的な参加について好意的なご意見をいただいている。地域の方々との関わりや貢献については、部活動の活動を周知しながら積極的に子どもたちに参加できるように意識付けを行っていききたい。また、保護者や地域の皆さんに、学校の教育活動への理解や協力を促すために、学校に関する情報を、HPやメール、学校便りなどで積極的に発信していきたい。PTA活動については、一人一役や各専門部の活動が、保護者にとって過度の負担にならないように、来年度に向けて見直しや精選を図っていききたい。
	生徒20	地域の行事や活動に積極的に参加した。	107人 50.7%	64人 30.3%	40人 19.0%	0人 0.0%	211人	3.32	81%	A		
	保護者14	子どもと一緒に食事をしたり、会話をしたりするように努めている。	85人 56.7%	63人 42.0%	2人 1.3%	0人 0.0%	150人	3.55	99%	A		
	保護者15	子どもたちは、学校や地域の方々に積極的に挨拶をしている。	38人 25.5%	97人 65.1%	14人 9.4%	0人 0.0%	149人	3.16	91%	A		
	保護者16	学校は、学級通信、学校だより、ホームページ、メール配信などを通して学校のことをよく伝えている。	49人 32.9%	85人 57.0%	15人 10.1%	0人 0.0%	149人	3.23	90%	A	↓	
	保護者17	子どもたちは地域行事に積極的に参加している。	54人 37.2%	70人 48.3%	21人 14.5%	0人 0.0%	145人	3.23	86%	A		
	保護者18	参観日や一人一役など、PTA活動に協力している。	56人 37.3%	91人 60.7%	3人 2.0%	0人 0.0%	150人	3.35	98%	A		
管理運営	保護者19	先生はゆとりをもって子どもたちと接する時間をつくらせている。	24人 16.3%	97人 66.0%	26人 17.7%	0人 0.0%	147人	2.99	82%	A	↗	業務を効率よく行う意識を高めていくことで、勤務時間の意識の変化を図り、長時間勤務の解消に繋げていく必要がある。また、業務の効率化の充実により、生徒と向き合う時間の確保に努めたい。今学期は1学期と比べて教員の負担軽減は進んでいるとの評価を保護者からいただいた。しかし、まだまだ長時間勤務は解消できていない。長時間勤務を解消し、授業や行事、休み時間等で生徒とより関わっていくことで教職員の思いを押し出し、更に保護者の理解を得たい。
	保護者20	教員の長時間勤務等負担軽減は進んでいる。	10人 7%	83人 59%	48人 34%	0人 0%	141人	2.73	66%	B	↗	
	教職員17	教職員の望ましい人間関係が保たれている。	6人 33.3%	12人 66.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	18人	3.33	100%	A		
	教職員18	サービスの遵守に努めている。	11人 55.0%	9人 45.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	20人	3.55	100%	A		
	教職員20	生徒と向き合う時間の確保は進んでいる。	5人 27.8%	13人 72.2%	0人 0.0%	0人 0.0%	18人	3.28	100%	A		
	教職員21	ワークライフバランス（家庭と仕事の両立）は保たれている。	4人 23.5%	13人 76.5%	0人 0.0%	0人 0.0%	17人	3.24	100%	A		
	教職員22	働き方改革の趣旨を踏まえ、業務改善に努めている。	3人 17.6%	14人 82.4%	0人 0.0%	0人 0.0%	17人	3.18	100%	A		

「令和7年度 学校評価」結果報告

(その5)

松前町立岡田中学校

評価項目	対象	評価指標	よくあてはまる	大体あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	回答数	【参考】 評価平均	肯定率 (わからない・無回答を除く)	判定 (わからない・無回答を除く)	記述
			4	3	2	1					
学校評価委員の 評価結果	1	学校は、各種学校行事に熱心に取り組んでいる。	9人 56.3%	7人 43.8%	0人 0.0%	0人 0.0%	16人	3.56	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> 小学生より中学生の方が朝のあいさつがよくできている。 放課後の部活動で元気な声と姿を見ると、こちらも元気をもらえます。地域クラブ等が増え、土日の試合など活動も様々だと思いますが、地域行事へは積極的に参加してもらいたいと思います。 子ども達が、地域や公民館の行事に協力してくれている。 登下校の態度は申し分なし。あいさつもよくできているし、交通ルールもよく守れている。 生徒たちの地域での姿は、真面目で誠実であり、また協力的である。学校の指導も行き届いており、また家庭においても向上心のある前向きな家庭がほとんどである。そのような様子を地域でも温かく見守っている。 下校時に交差点で話している生徒たちが車の運転の邪魔になると近所の人に聞きました。学校で指導してもらったらと思います。 生き物を栽培、飼育すると良い。(例)ドテカボチャやサツマイモを栽培する。ウサギや金魚等を飼う。 トラブルを回避するためのネットリテラシーの向上 できれば、学校行事等の参加可能な行事があれば、出席の案内をいただきたい。外から見ただけでは、分からないことが多い。
	2	学校は、部活動を通して気力・体力と礼儀を高める指導をしている。	8人 53.3%	7人 46.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	15人	3.53	100%	A	
	3	学校は、子どもの安全や健康に良く配慮し、指導している。	7人 46.7%	8人 53.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	15人	3.47	100%	A	
	4	地域で子どもたちは、積極的にあいさつをしている。	6人 35.3%	7人 41.2%	3人 17.6%	1人 5.9%	17人	3.06	76%	A	
	5	学校は、学級通信、学校だより、ホームページ、メール配信などを通して学校のことをよく伝えている。	8人 50.0%	8人 50.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	16人	3.50	100%	A	
	6	学校は、地域からの要望や意見に対応している。	6人 42.9%	7人 50.0%	1人 7.1%	0人 0.0%	14人	3.36	93%	A	
	7	教員の勤務時間について、もう少しゆとりが必要である。	6人 50.0%	6人 50.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	12人	3.50	100%	A	
	8	子どもたちは、地域行事に積極的に参加している。	5人 29.4%	10人 58.8%	2人 11.8%	0人 0.0%	17人	3.18	88%	A	